

## 発行にあたって



石川県は、本州中央部の日本海側に位置し、北部には日本海に突き出た能登半島の長く複雑な海岸線、南東部には高山帯を持つ白山を擁するなど、その自然と四季は変化に富んでいます。

この豊かな自然の中で、日本の生物相の縮図と言えるほどの多種多様な野生生物が生息しており、私たちもこの自然から多大な恩恵を受けて生きています。

しかしながら、近年、県鳥のイヌワシをはじめ希少な生物のみならず、これまで身近にあった草花や小動物が、開発等による生息環境の悪化や、里山の手入れ不足などによる荒廃により、絶滅の危険性があることが明らかとなっています。

このような背景のもと、県では、平成16年3月に「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」を制定するとともに、この条例に基づき平成17年3月に「石川県環境総合計画」を策定し、県民、事業者、行政等が協働して、「自然と人とが共生するいしかわ」の実現に向けて取り組んでいるところです。

また、本年度からは、生物多様性の確保に向けた取り組みを推進するための拠り所となる「生物多様性戦略ビジョン」の策定に着手したところです。

このような中、「いしかわレッドデータブック〈動物編〉2000」の発行から9年が経過したため、「いしかわレッドデータブック〈動物編〉2009」を発行することといたしました。改訂版では、新たに発見された種など新しい情報を盛り込み、また、分類に「陸産貝類」及び「淡水産貝類」を追加するなど、内容の充実を図っています。

本書を、野生生物の保全をはじめ生物多様性の確保に向けた取り組みを進めるため、また、郷土の自然に対する認識を深めていただくための資料として、広くご活用いただければ幸いです。

最後に、本書の編集・執筆にあたられました「石川県野生動物保護対策調査会」の皆様をはじめ、ご協力をいただいた関係各位に対し心から感謝の意を表します。

平成21年3月

石川県知事 谷本 正憲